

平成十九年十一月、十二月中の日本にて講演予定

- 一、 十一月十七日 東京、プレメディカル東京  
演題 日本の医師教育の問題点と心構え
- 二、 十二月二十七日 東京、新宿区医師会  
演題 アラブ及びアフリカの代替医療の現況
- 三、 十二月一日 仙台 日本統合医療学会総会  
演題 アフリカに於ける統合医療の現況
- 四、 十二月四日 横浜 神奈川県病院学会  
演題 今後の医療経営のあり方
- 五、 十二月七日 大阪 野口医学研究所年次総会  
日本の病院経営の対策
- 六、 十二月八日 広島 日本医療経営学会年次総会  
理事長講演
- 七、 十二月九日 東京 野口医学研究所、東京支部  
演題 日本米留學生の現状と心構え

現在までに予定の無い日は左記の通り

十一月は、十四、十五、二十から二十六日迄、二十九

十二月は、十、十一

ですが、まだ本決まりの日もありますので急いで決めて下さい。

廣瀬輝夫

# 広瀬 輝夫 経歴書

平成十九年 現在

## 学歴

- 昭和十九年 東京高校（現東京大学教養学部）卒業
- 昭和二十三年 千葉大学医学部 卒業後、中山外科にて癌手術研究
- 昭和二十九年 渡米、シカゴ及びフィラデルフィアで心臓外科研究
- 昭和三十三年 帰日後、千葉大学、中山外科において講師として勤務
- 昭和三十四年 再渡米、ニューヨーク市にて心臓外科研究
- 昭和四十九年 ニューヨーク医科大学臨床外科教授就任（平成元年迄）
- 平成十二年 秀明大学医療経営学科長、主任教授就任（平成十八年迄）

## 研究内容

- 一、日本にて胃切除後癌の研究で博士号取得（一九五七年）
- 一、心房中隔欠損症新手術の開発（一九五五年）
- 一、僧帽弁狹窄症新手術の開発（一九五六年）
- 一、心不全症に人工透析使用、麻薬中毒者に人工透析使用（一九五九年）
- 一、実験動物に煙草により肺癌を発生させるのに成功（一九六〇年）
- 一、自家筋膜移植による人工心臓弁作成に成功（一九六一年）
- 一、無血開心術のための無血人工心肺を開発（一九六六年）し、  
世界最初の成功例として米国NBCテレビでも紹介
- 一、世界最初の冠動脈直接吻合手術（内胸動脈冠動脈バイパス手術（一九六八年）  
米国CBSテレビで紹介
- 一、右胃大網膜動脈使用による心筋後壁血行再建バイパス手術に成功（一九七〇年）
- 一、輸血不可能のエボバ教徒に対する世界最初の無血手術を一九六六年に施行して  
以来、過去二十三年間に約八千例手術、うち開心術約三百例を施行
- 一、手術症例は、一般・胸部・心臓及び血管外科を含め約三万例を施行、そのうち  
開心術七千例

## 受賞及び資格

- 一、米国医学会より日本人として初めての金メダル受賞
- 一、東洋人最初の米国胸部外科学会評議員
- 一、東洋人最初の米国心臓外科及び胸部外科専門医資格取得
- 一、米国外科学会評議員
- 一、米国心臓病学会評議員
- 一、米国胸部疾患学会評議員
- 一、米国血管病学会評議員
- 一、米国胸部外科学会評議員
- 一、米国腹部外科学会評議員
- 一、ニューヨーク医学学士院評議員
- 一、国際心臓血管学会評議員
- 一、米国血管学会評議員

## 所属学会

- 一、 米国老人病学会会員
- 一、 米国人工臓器学会会員
- 一、 米国臨床薬理学会会員
- 一、 米国薬剤師協会会員
- 一、 米国心臓協会会員
- 一、 米国医学執筆者協会会員
- 一、 日本医療ジャーナリスト協会会員
- 一、 日本ペンクラブ会員

## 活動紹介

(日本での新聞、雑誌執筆及びインタビュー)

朝日新聞 日本経済新聞 日経メディカル 日本医事新報 全日病雑誌  
 神奈川新聞 南日本新聞 新医療誌 ばんぶう 週間医学界新聞他

(テレビ、ラジオでの番組出演及びインタビュー取材)

米国 NBC CBS ABC

教育テレビ番組(ニューヨーク、ニュージャージー、コネチカット、  
 ペンシルバニア各州及びカナダ)

日本 フジテレビ(ドキュメント日本人)、ニューヨークフジテレビ  
 テレビ朝日(徹子の部屋)、こんにちほ二時)、テレビ東京(医食  
 同源)、山本医療テレビ ラジオ東京

学術論文、エッセイ医療評論等約千二百種類

## 執筆及び著書

日本語単行本

- ジャパニーズ ドクター(講談社、一九八七年)
- アメリカが大変だ(日本医療企画社)一九八七年)
- アメリカ医療は何処へ行く(日本医療企画社 一九八八年)
- 無血手術法(金原出版社 一九九〇年)
- アメリカ医療の苦悩と挑戦(日本医療企画社 一九九一年)
- 近代医療への警告 医の倫理(金原出版社 一九九二年)
- 日本医療の活路を拓く(日本医療企画社)一九九二年)
- 変わりゆく老人病(日本医療企画社 一九九四年)
- 在米日本医師の独白(学生社 一九九二年)
- 環境医学事始め(シーエムシー出版 一九九八年)
- 日本よ!米国医療を見習うな(日本医療企画社 一九九八年)
- 近代医療におけるクオリティ オブ ライフ(日本アクセル  
 シェアリング出版 一九九八年)
- 二十一世紀の医療について(東京青年 一九九六年)

- 生と死にかかわる医療 (日本アクセルシユブリング+出版 一九九九年)
- なぜエイズは克服できないか (シーエムシー出版社 一九九九年)
- 日米医療はこうも違う (秀明出版会 二〇〇〇年)
- 死の医学 (学生社 二〇〇〇年)
- 代替医療のすすめ (日本医療企画社 二〇〇一年)
- 生活習慣病の先端医療 (メデイカルトリビューン社 二〇〇一年)
- 皆保険を守る医療改革を (篠原出版新社 二〇〇二年)
- 医療経営の実際 (篠原出版新社 二〇〇二年)
- 病氣と病院に強くなる本 (日新報道 二〇〇三年)
- 米国の医療教育から何を学ぶか (篠原出版新社 二〇〇三年)
- これからの高齢者ケアをどうするか (メデイカルトリビューン社 二〇〇四年)
- 二十一世紀の日本の医療を問う (篠原出版新社 二〇〇五年)

日本語雑誌発表

臨床外科学会、胸部外科学会、日本医事新報、日本医師会雑誌、全日本病院学会誌、ピラミッド、  
 ばんぼう、フェイス3、メデイカルネットワーク、ホスピタン、最新医療、スコープ、  
 環境衛生、医療、ライフサイエンス、けんぼ、アクセス、エキスパートナース、中外医療、  
 ジャパンニューヨーク、未来医学、ネオス、メデイカルトリビューン、ウイング、ラボ、  
 日本消化器病学会誌、医連の日本、TKC医業経営情報、日本外科学会雑誌、GP Net、  
 日本診療管理学会誌、眼科と経営、EPIIC誌、総合臨床、透析と経営、JMS、腎と透析、  
 医療保険診療録管理雑誌、茨城県医師会会報、大宮市医師会会報、JIM、福山医師会会報、  
 沼声、ホームケヤメデイシン、メデイカルビュー、JACT会報、日本老人病学会誌、  
 週間医学会新聞、日本バイオマテリアル学会誌、  
 ジャパンメデイシン、九州医師会雑誌、じほう  
 法律文化、日大ビジネスセミナー、  
 日本医療経営学会誌、日本外科連合会雑誌

英文 医学単行本分担執筆 約十冊  
 英文 新聞、学術論文。学術雑誌 約百種類

次頁

業績を紹介された英文誌

- World Who's Who in Science
- New York Times
- Parade Magazine
- New York Post
- Daily News
- New York Journal American
- Saturday Review
- Family Circle
- Tampa Tribune
- The Record
- Dallas County Morning Observer
- Ocean Who in the World
- Who's Who in the America
- Who's Who in the East
- Who's Who in the Society
- Who's Who in the Science & Engineering
- Who's Who in New York Education
- Who's Who in American Science & Tech.
- Who's Who in Frontier & Healthcare
- Who's Who in Medicine
- Who's Who in America
- Int'l Best Doctor in America

### 特別講演

日本医学会総会(二回)、日本外科学会総会、日本臨床外科医会総会(四回)、  
 日本病院会総会(二回)、全日本病院会総会、公私病院連合会総会、  
 日本心血管インターベンション学会総会、日本外科系連合会総会、  
 日本腎臓病学会総会、九州医学会総会(三回)、福山医師会総会(三回)、  
 大宮市医師会総会、北九州市医師会総会(二回)、札幌医師会総会、  
 山形市医師会総会、釧路市医師会総会、大阪府医師会総会(三回)、  
 鹿児島市医師会総会(三回)、京都市医師会総会、熊本市医師会総会、  
 腹膜透析研究会総会、日本腎臓病学会総会、日本統合医療学会総会、  
 千葉大学新講堂記念講演会、日本老人病学会総会、日本病歴管理学会総会、  
 日本医療経営学会総会(六回)、秀明大学公開講演(二回)、日本大学院七三十一九(三  
 回)、鹿児島大学医学部年次総会(三回)、日本医療交流財団十周年記念総会

### 職歴

日本医療企画社 特別論説委員 (一九八五―〇二年)  
 ゼオンメディカル株式会社 顧問 (一九八九―〇二年)  
 明治製菓株式会社 医療顧問 (一九九一―〇一年)  
 日本代替相補伝統医療学会 理事 (一九九七―九九九年)  
 KPMGヘルスケア ジャパン株式会社 顧問取締役 (一九九八―〇二年)

### 現職

日本医療経営学会(JAHCA)	理事長	(二〇〇二年より)
日本統合医療学会(JIM)	理事	(二〇〇四年より)
秀明大学統合経営学部	名誉教授	(二〇〇六年より)
プレメディカル東京	学長	(二〇〇六年より)











○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

■山田隆夫

日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

●藤田 雅也 (Yoshiaki Fujiwara)

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）

○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）  
 ○日本銀行元副総裁（平成13年）